

黒埼町の今音

木場小唄の発掘(二)

昭和四十年、新しく「木場音頭」を作り「木場小唄」とともに発表会を開く。

昭和四十年春、丸山和五郎さんの柴田先生訪問によって「木場小唄」の発掘に成功した木場公民館の人たちは、その発表会を開くに当たって、情緒的な「木場小唄」とはまったく対照的な盆踊り唄としても歌われるような威勢のいいにぎやかな唄をつくって二本立てで発表会を開くことにした。

敬している亀倉さんから推薦されたということ、自分たちの村の唄をつくらうと一生懸命になっている青木さんや丸山さんの熱意にほだされ、「木場音頭」の作詞を引き受けたのだという。

作詞にあたって竹石さんは、明るく活気あふれる農村の姿を描きたらと、歌詞の中には秋のみのりとともに伝統を誇る郷土芸能の棒踊り、義理人情に厚い土地柄、そこでたくましく生きる人々の姿などを農村の泥くささとも押し出したいと思い、威勢

そこで青木留吉さんと丸山さんは亀倉浦舟さんを訪ね、この唄の作詞をだれにいらいたらいいかと、相談した。亀倉さんは即座に「作詞なら竹石君がいるじゃないか、彼に私がそう言っていたと頼んでみなさい」と勧めたので、二人はさっそく竹石貞三郎さんに頼みに行った。

竹石貞三郎さんは当時、新潟日報の事業社に勤めていて若いころから詩や短歌をよみ村でも知られた人だった。二人の依頼を受けた竹石さんは「唄の歌詞など今まで一度もつくったことがない」と辞退した。しかし、日ごろ専



写真上/木場音頭、木場小唄発表会のパンフレット。下/発表会での木場音頭。

よさを表すため「どと、どん」ということばを歌詞中に多く入れ、力強さを強調したという。

木場音頭

竹石貞三郎 作詞
山際 平時 作曲
佐藤 和子 振付

ドントコイ
ヨイヤサー
ヤットナーヨイヨイ
(以上繰返し)
一米の越後のどまん中
稔り豊かな俺らが木場
米のことならどんと来な、

どんと来な
ハア！黄金の波がどんと立つ(以下繰返し)
サア！ヨイショナーヨイショナー
ドドンガドン

二米の越後のどまん中
暮らし豊かな俺らが木場
金の広間に金屏風、金屏風
ハア！稲架に田圃がどんと続く

三米の越後のどまん中
いつもほがらか俺らが木場
豊年音頭に棒踊り、棒踊り
ハア！唄と踊りでどんと明かす

四米の越後のどまん中
恋の花咲く俺らが木場
可愛い娘がどんと居る、どんと居る
ハア！嫁さん欲しけりやどんとおいで

五米の越後のどまん中
人情豊かな俺らが木場
義理と人情とど根性、ど根性
ハア！男まえ見てどんと来な

竹石さんの作詞した「木場音頭」の作曲は、上組の山際平時さんの三男で、新潟市在住の山際平時さんに依頼された。平時さんは当時、新潟南高校、石山中学校などの音楽の講師を

勤めていた。振付けは、新潟硫酸会社(当時、新潟市関屋にあった)の民謡部に籍を置いていた佐藤平造さん(木場川前)に相談したところ、「うちの民謡部に教えるにきている日本ビクターの歌手で舞踊家の佐藤和子さんに振付けをしてもらいましょう。そして私が覚えてから踊り手になる村の人たちに教えることにしましょう」ということになった。

昭和四十年、振付けができることさっそく、川前の旧農協の二階で、佐藤平造さんの指導のもと、川前の山際ヨイさん、那須野道子さん、小柳ミイさん、戸枝サダさんら女子青年の人たちが集り、八月の発表会に向けて、踊りの稽古が始まった。

発表会が開かれる昭和四十年八月一日、木場小学校体育館で「木場小唄」と「木場音頭」の発表会が、木場公民館主催で華々しく挙行された。

当日は九時開会予定のところ、七時を過ぎるころから、もう村の人たちが続々と詰めかけ、開会の九時には広い体育館も立錫の余地のないほどいっぱいになった。そして、万雷の拍手の中、「木場小唄」と「木場音頭」が披露された。

取材協力・満行寺、丸山和五郎、大谷ツギ、山際サキノ、青木キイ、小林キヨミ、山際ヨイ、笠原セツ、那須野道子、竹石貞三郎、佐藤平造(敬称略) 執筆・宮田栄門

手は、小林キヨミさん、富所タイさん、大縫英子さん、豊田ミサさんたちだった。(この踊りの振付けに協力した大谷ツギさん、山際サキノさん、青木キイさんは発表会に出場しなかった)

「木場音頭」の踊り手は、指導に当たった佐藤平三さんを中心に、山際ヨイさん、那須野道子さん、小柳ミイさん、岩野アキ子さん、戸枝サダさん、ほかに大野から相田富喜子さんが協力出演した。

「木場音頭」もその後、昭和五十年ころ県下農協芸能大会などに出場し、BSNテレビなどでも放映された。また、一時期、木場小学校で子供たちに郷土芸能として伝承するため、山際ヨイさんたちが小学校に教えたこともあったという。

熱意ある有志の人々の協力により、このたびの「木場小唄」「木場音頭」発掘を機にこの唄を再び郷土の唄としてせひ残したいものである。

表彰おめでとうございます

第三十九回西蒲原郡社会福祉大会(十月三日、西川町)で表彰された皆さんです。

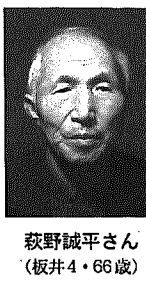
特別表彰
*国際障害者年記念表彰
山川靴工業株式会社
(諏訪町)



※五年以上、身体障害者を雇った事業所。
*自立更生により他の模範とする人



*民生委員を十年以上勤める人



*満百歳以上になる老人を介護している人



◎国民年金委員表彰
国民年金委員を15年以上務められた。



役場庁舎増築工事請負契約の締結など6議案を審議可決

十月二十五日(休)、平成元年度の議会第五回臨時会が開かれました。

九月定例会で否決・取り下げされた黒埼町役場庁舎増築工事請負契約の締結についての三議案のほか、六議案が審議され、すべて可決されました。

議案
■黒埼町役場庁舎増築改築(建築)工事請負契約の締結について(議案第63号)
■黒埼町役場庁舎増築改築(電気設備)工事請負契約の締結について(64)



役場庁舎増築改築の地鎮祭(11月6日)

■黒埼町役場庁舎増築改築(機械設備)工事請負契約の締結について(65)
■黒埼町立山田小学校地下道建設工事請負契約の締結について(66)
このページ下の入札結果をごらんください。

■大野都市下水路大野二号幹線築造(第六工区)工事請負契約の変更について(67)
3110万6千円で(株)石附組と契約していたものを56万1350円増額。
■大野都市下水路前川原幹線築造(第四工区)工事請負契約の変更について(68)
3146万6500円で(株)国土と契約していたものを22万1450円増額。

金巻の池に鮒を放流
金巻諏訪神社裏の池にヘラブナ約三千匹が放流されました。この池は町民の憩いの場とするため、昨年からの整備を行ってききましたが、この十月には完了。さらに親しんでいただけるようにと行ったもので、放流は十月二十九日に行われました。(ガス水道局)



短 信

10月15日
～11月15日

▶10月16日～20日農業委員海外視察(台北・ソウル、町長同行)▶23日入札(総務課)▶24日表彰委員会(総務課、役場議場)新潟土木事務所道路整備備忘談話(新潟市、町長出席)▶25日議会第5回臨時会、物産センター道路問題会議(建設課、役場議場)▶26日～27日議会厚生企業委員会視察(福島県)▶30日農業委員会(農政課)▶31日ふるさと創生懇談会(総務課、役場議場)▶11月1日県中央施設組合会議(三条市、町長出席)▶2日民協11月定例会(住民福祉課)消防応援協議会(新潟市、町長出席)▶6日庁舎増築改築工事安全祈願祭(中央公民館跡地、町長ほか出席)都市下水事故防止対策会議(建設課)▶7日課長会議▶8日農業委員研修会(町内、町長出席)福島県黒埼町広報視察(企画開発課)▶10日献血友の会総会(保健衛生課)▶15日中之口川治水期成同盟会議(新潟市、町長出席)

入札結果

工 事 名	工 事 業 者	請 負 額	入 札 日	完 成 期 限
町道鳥原寺地線側溝改修工事	(株) 笹 川 組	3,038.5千円	10月23日	平成2年1月20日
黒埼町役場庁舎増築改築(建築)工事	(株) 福 田 組 新 潟 営 業 所	287,370	10月23日	平成2年6月25日
黒埼町役場庁舎増築改築(電気設備)工事	(株) 東 北 電 氣 工 事 社 新 潟 支 店	55,105	10月23日	平成2年6月25日
黒埼町役場庁舎増築改築(機械設備)工事	新 潟 企 業 (株)	86,005	10月23日	平成2年6月25日
黒埼町立山田小学校地下道建設工事	第一建設工業(株)	79,310	10月23日	平成2年3月24日

総務課